

## 軟式野球大会要項

- 1 大会名 第68回 糟屋区中学校軟式野球大会
- 2 主催 糟屋区中学校体育連盟
- 3 期 日 平成30年 7月 7日(土)、8日(日) 雨天予備日・・・14日(土)  
監督者会議 7時45分 開会式 8時00分(カブトの森野球場)
- 4 会 場 カブトの森野球場(篠栗町若杉191)、駕与丁野球場(粕屋町駕与丁3-2-1)  
原の前野球場(宇美町障子岳2-20-1)、若杉の森野球場(須恵町佐谷515-1)  
千鳥ヶ池野球場(古賀市舞の里2-5-1)  
【雨天予備会場】  
志免東中(志免町志免東4-4-1 TEL 092-936-1100)  
古賀中(古賀市久保107 TEL 092-942-6871)
- 5 参加資格 糟屋区中学校総合・新人体育大会参加基準に準ずる。
- 6 競技方法 トーナメント方式戦(上位3校は筑前地区大会の参加資格を得る)
- 7 競技規則
- ① 規 則 全日本軟式野球規則と本大会特別規則に準じる。  
※投手の登板は、1日に7イニングまでは適用しない。  
※1イニングに2回の作戦タイムで投手交代が適用される。
- ② 使用球 公認球のB号球
- ③ チーム編成 登録選手20名と記録員1名とする。
- ④ 引率、監督 引率・監督は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。コーチについては、出場校の教育職員・部活動指導員とする。但し、教育職員以外のコーチは校長が認め、県中体連に登録し承認を受けた者とする。
- ※申し合わせ事項
- ① 用 具 日本軟式野球連盟(JSBB)公認のもの。キャッチャーはヘルメット、レガース、プロテクター、フェールカップを着用すること。バットリング、リストバンドは禁止する。  
打者・走者はヘルメットを着用する。
- ② 試合回数 7回戦とする。但し、5回以降7点差のある場合はコールドゲームとする。  
雨天等の場合5回以前はノーゲームとする。(サスペンデットは適用しない。)
- ③ 延 長 延長戦は9回までとし、以後10回～12回までを判定戦として、前回最終打者を1塁、その前の打者を2塁、前々打者を3塁におき、ノーアウト満塁で継続打順で攻撃を開始する。後攻側も同じ条件で攻撃を行いその回の得点の多いほうを勝者とする。なお同点の場合は、次回に継続打順で同じ方法によって行う。
- ④ ベンチ ベンチ入りは、監督、コーチ(外部指導者1名含む)の3名及び登録選手20名と記録員1名とする。  
(3年生の登録選手以外のベンチ入りを認める)ベンチは組み合わせの若番号を一塁側とする。
- ⑤ 会 場 大会中の会場は、整備、運営に支障をきたす早朝練習は禁止する。選手は30分前に会場に到着し、監督は本部に通告する。各会場の規則(スパイク着用等)に従って行動し、ゴミは必ず持ち帰る。
- ⑥ 練 習 フィールドイングは、試合開始前後攻側から行い、各チーム7分間とする。但し、大会運営上支障をきたす場合においては、その限りでない。監督及びノッカーはユニフォームを着用する。
- ⑦ 抗 議 抗議は受け付けない。質問については、監督のみ許可する。
- ⑧ 試 合 中学生らしからぬ行為をした場合は、退場を命じることもある。個人攻撃をするようなヤジは絶対に慎み、選手はすべてに中学生らしい態度やプレーに心がける。
- ⑨ ベースコーチ 登録選手に限る。(ヘルメットを着用する)
- ⑩ 服 装 登録選手20名は、同一ユニフォーム(スパイク)で背番号(1～20)をつける。記録員は、同一ユニフォームまたは制服とする。また、監督・コーチ(外部指導者も含む)もユニフォームを着用すること。監督は背番号30をつける。
- 8 表彰 優勝、準優勝、第3位を表彰する。
- 9 選手申し込み 平成30年6月29日(金)までに申込書を郵送または持参すること。(職印を忘れないように)  
〒811-3115 古賀市久保107 古賀中学校 松本 秀樹 宛  
TEL(092)942-6871

〈競技役員〉

松本秀樹（古賀）

【南部】

梶原博文・鳥田康平（宇美）、長瀬一喜・重田明里（宇美南）、緒方孝治・下川貴之（宇美東）、毛戸進・堀隆行（須恵）、梅木伸太郎・井上浩介（須恵東）、藤本和規・野中耕太郎・新保順慈（志免）、宮野裕司（志免東）

【中部】

町田達平・小倉耕一・榎田悠作（粕屋）、阿部尚記・平田清実（粕屋東）、下見俊幸（久山）、山崎智之・新村智大（篠栗北）、山本千利・原田明彦（篠栗）

【北部】

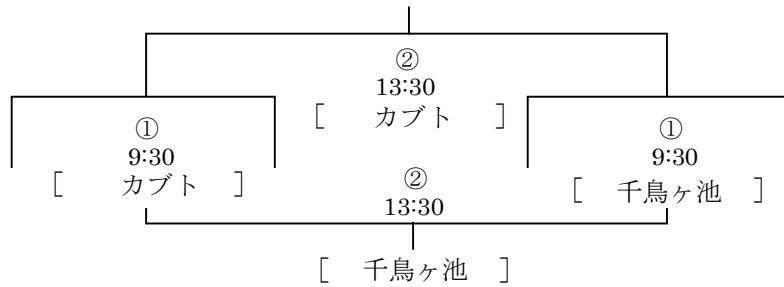
菅原宏・菅本美枝子・森奥純（新宮）、松本秀樹・北川裕基・天野裕樹（古賀）、大里恭太郎・中津裕一郎（古賀東）、岩元一浩・山崎涼（古賀北）

10 組み合わせ

※連続して試合を行う場合は、40分間の休憩をとる。

※雨天時の判断は当日6時30分に行う。

二日目



一日目

